

子どもの明日 応援プロジェクト

ふくしまキッズプログラム「ぽんた山 元気楽校」に参加！ ～被災地の子どもたちを支援～

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 松尾 憲治）は、2012年度を通じ、子どもの健やかな成長を応援する「子どもの明日 応援プロジェクト」の一環ならびに東日本大震災の被災地支援活動として、被災地の子どもたちと触れ合いました。

「ぽんた山^{やまげんきがっこう}元気楽校」は、原発事故の影響で屋外活動が制限されている地域に住む福島県の子供たちを、放射線量の低い鮫川村に招き、思い切り外遊びをしてもらう活動です。当社は、NPO法人あぶくまエヌエスネット（理事長 進士 徹氏）が主催する本活動の趣旨に賛同し、ボランティアとして全国各地から計11回、50人の従業員が参加しました。

当社は、今後も子どもの健全育成と被災地支援に貢献してまいります。

【「ぽんた山 元気楽校」の概要】

■活動の意義・内容

原発事故の収束を未だ見出すことができず、子どもたちは心身のバランスを保つことが難しい状況にあります。そのようななか、当活動では、ボール遊び・ウォールクライミング等の屋外活動や食事・入浴・就寝をともにすることで子どもらしさを回復し、コミュニケーションを図り豊かな心を育成することを目的としています。

■活動場所および参加期間

- ・福島県東白川郡鮫川村大字赤坂東野字葉貫
- ・2012年6月～2013年2月の各週末（1泊2日）



【集合写真】



【外遊びの様子】

＜ご参考＞NPO法人あぶくまエヌエスネットについて

「土、自然から学び共に生きよう」をテーマに、子どもから大人まで対象別に山村体験を行ない、生涯体験交流学習の場を提供。山村には共に育つ「共育学」があると位置づけ、地域の人と都市生活を送っている人の相互のスキルアップを企図している。なお、理事長の進士氏は、「ぽんた」の愛称で親しまれている。